

【背景・課題】

国立公園、国定公園等の自然体験拠点における案内板やビジターセンター等の展示物については、主に日本語での解説が多く、外国人旅行者に国立公園等の自然などの魅力が十分伝わらない。また、国立公園では英語解説文の整備は進みつつあるものの、利用者の多様な言語には未対応であり、国定公園等では英語解説文の整備が十分に進んでいない。

国立公園では一定の整備が進みつつある中、訪日外国人利用者が多く見込める自然体験拠点における多言語化の効果を高めるには、国定公園等の自然体験拠点についても対象とし、自然公園全体で取り組みを進める必要がある。

【事業内容】

これまでの観光庁多言語事業の成果を活用しつつ、国立公園、国定公園等の案内板やビジターセンター等の展示物、その他各種関係コンテンツ等について、ICTなども活用し、英語・中国語・韓国語等の多言語にて、外国人目線で分かりやすく魅力的な多様な解説整備をエリア一帯で促進。

（令和3年度拡充内容）

- ・国定公園及びロングトレイル（長距離自然歩道）内及びこれらへの誘客を目的とした多言語解説等整備を補助事業の対象とする。

【事業実施スキーム】

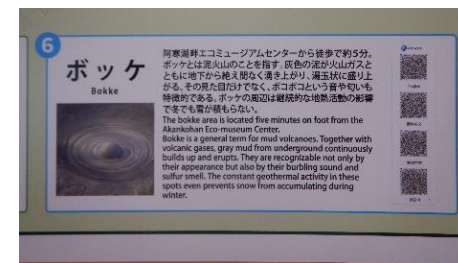
- 〈直轄〉 環境省 → 民間事業者 ※国立公園のみ
- 〈補助〉 環境省 → 中間執行団体
→ 地方公共団体、観光協会やDMO等の団体、民間事業者等

補助率：2 / 3

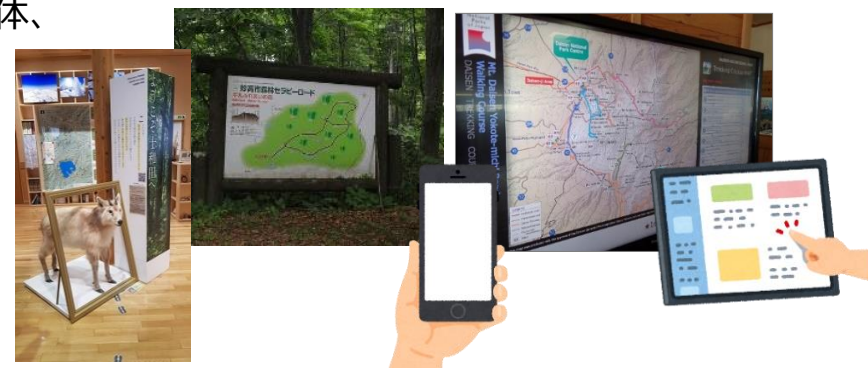
※国立公園以外で多言語解説文作成を行う場合は、観光庁の作成指針等を活用すること等を要件とする

【効果】

各国立公園等にて魅力的な多言語解説が整備されることによる、訪日外国人の国立公園、国定公園等での体験滞在の満足度の向上、滞在の長時間化、ひいては消費額の増大に資する。



Uni-codeを活用した4言語による自然の解説



多様な媒体を活用し国立公園等の魅力を多言語で解説